（別紙様式4）

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和6年7月31日※1
（前回公表年月日：令和5年7月31日）

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大阪ブライダル専門学校	平成23年4月1日	髙田　直樹	〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-25 （電話）06-6447-0051
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人トラベルジャーナル学園	昭和55年4月1日	森谷　博	〒164-8550 東京都中野区東中野三丁目18番11号 （電話）03-6734-2939

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	ブライダル学科	平成23年文部科学省認定	－

学科の目的	ブライダルサービス関連企業との連携をより強固なものにして、本学卒業後に即戦力として就業できる人材を教育・育成する。
認定年月日	平成26年4月1日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	1768	1528	－	240	－	－
							時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内	専任教員数	兼任教員数	総教員数
280人	223	0人	6	2	8人

学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表：　有 ■成績評価の基準・方法 学期毎に1回の試験を実施
長期休み	■夏　季：7月下旬～9月30日までの5週間 ■冬　季：12月下旬～1月上旬の3週間 ■春季休業：3月上旬～4月上旬までの3週間	卒業・進級条件	全科目の内、80%以上の科目認定 出席率80%以上
学修支援等	■クラス担任制：　有 ■個別相談・指導等の対応 担任、バディティーチャー制による定期的な面談実施	課外活動	■課外活動の種類 （例）学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・体育祭実行委員会、図書委員、SDGs委員等 ・研修旅行、フィールドワーク ■サークル活動：　無
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和4年度卒業生） ブライダルサービス関連業界 ■就職指導内容 面接指導、筆記試験対策、業界事情の講義 ■卒業者数：77　人 ■就職希望者数：74　人 ■就職者数：74　人 ■就職率：100　% ■卒業者に占める就職者の割合：96　% ■その他 ・進学者数：　1人 （令和　5 年度卒業者に関する令和6年5月1日時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報） ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄

資格・検定名	種	受験者数	合格者数
ブライダルコーディネート技能検定3級	③		103

中途退学の現状	■中途退学者　15 名　■中退率　7 % 令和5年4月1日時点において、在学者202名（令和4年4月1日入学者を含む） 令和6年3月31日時点において、在学者187名（令和5年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 経済的理由・進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 出席率管理・出席率悪化学生の早期面談システム
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：　有 ※有の場合、制度内容を記入 長期留学制度奨学金　英語資格取得奨学金　家族推薦奨学金 ■専門実践教育訓練給付：　非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	https://www.osaka-bridal.ac.jp/

（留意事項）

1. 公表年月日（※1）

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況（※2）

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて（通知）（25文科生第596号）」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

（1）「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員（雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいいます。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

（2）「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う）。

（3）上記のほか、「就職者数（関連分野）」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果（※3）

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他（民間検定等）の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果（例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等）について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業実習や本学卒業生の勤務状況、企業の施設を利用した実践的な講義を通じ、人事担当者や現場責任者の意見具申をカリキュラム等に柔軟に反映させていく。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

業界からの要望、知見をもって、本学のカリキュラムの編成に対して意見・具申を行う。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
廣岡　裕一	京都外国語大学グローバル観光学科教授	令和3年10月31日～ 令和5年10月31日（2年）	②
田中　知一	大阪府立布施高等学校	令和5年4月1日～ 令和7年4月1日（2年）	②
梅村　千尋	㈱日本旅行　企画チーフ	令和3年9月30日～ 令和5年9月30日（2年）	③
川崎　祥司	阪急電鉄㈱　運輸副部長	令和5年5月1日～ 令和7年5月1日（2年）	③
木村　洋司	日本航空㈱　西日本地区副支配人	令和5年6月1日～ 令和7年5月31日（2年）	③
古瀬　江梨奈	合同会社USJ人事部・卒業生	令和5年4月1日～ 令和7年4月1日（2年）	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（11月、2月）

（開催日時（実績））
第1回　令和5年11月6日　16:30～18:00
第2回　令和6年2月7日　16:30～18:00

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
・【1年生の模擬披露宴授業について】
役割と顔写真がわかるものが事前に配布されると役割に応じた目線でチェックできると思うとのご意見あり、検討する、

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、実際の業界関連業務に携わることで、就業時に即戦力として働ける力を醸成する。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

受け入れ先企業と協定書を交わし、一定期間の企業実習を行う。当該企業の担当者は、指導報告を本学に行う。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な3科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
企業実習/集中講座	各業界の企業インターンシップで職業体験を行う。又は、各企業に必要な実務能力を高めるための特別講座を受講する。	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ他
ブライダル発表会	学生の市場調査を基にした業界人へのプレゼンテーションや学生企画のドレスショーを使用して実施する。	ブライダル企業約100社
ブライダルマーケティング	ブライダル企業の実店舗におけるブライダルフェアを企画、審査していただく	クレ・ドゥ・レーブ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

本学の教員・講師は講師向け配布マニュアル「教務基本指導要領」に基づき、全体研修・集合研修・個人研修の受講または専門分野の研究を行い、自己能力の開発に努めなければならない。

研修名「学科魅力付け研修」（連携企業等：　株式会社マックスマネジメント　）
期間：令和5年８月8日（火）～9（水）　　対象：教職員１９名
内容：①新しい教育のあり方　②業界に就職させるための方策　③学科の魅力発信

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学科魅力付け研修」（連携企業等：　株式会社マックスマネジメント　）
期間：令和5年8月22日（火）～23（水）　　対象：教職員２４名
内容：①新しい教育のあり方　②業界に就職させるための方策　③学科の魅力発信

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「カリキュラム完全共有化」
期間：令和6年8月21日（水）　　対象：東京校、大阪校の教員

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

本学における自校点検が適切であるか、学校関係者の高所から意見・評価を取り入れ、より良い学校経営に活かす。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	学校の理念・目的・育成人材像
（2）学校運営	運営方針に沿った事業計画の策定
（3）教育活動	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等
（4）学修成果	就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減等
（5）学生支援	進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制等
（6）教育環境	施設・設備、学内外の実習施設等
（7）学生の受入れ募集	学生募集活動、奨学金等
（8）財務	中長期的な学校の財務基盤、予算・収支計画、財務情報公開
（9）法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、個人情報保護
（10）社会貢献・地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	留学生の受入れ・派遣

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

公開する学校関係者評価は、本学の自己点検結果に対して評価委員が意見具申し、修正されたものが学校関係者評価委員においての最終承認を得たものである。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年3月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
廣岡　裕一	和歌山大学	令和5年11月1日～ 令和7年10月31日（2年）	②
田中　知一	大阪府立布施高等学校	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日（2年）	②
渋谷　吉孝	学校法人大阪学園大阪高等学校	令和5年11月6日～ 令和7年11月6日（2年）	③
川崎　祥司	阪急電鉄㈱　運輸副部長	令和5年5月1日～ 令和7年4月30日（2年）	③
木村　洋司	日本航空㈱　西日本地区副支配人	令和5年6月1日～ 令和7年5月31日（2年）	②
古瀬　江梨奈	合同会社USJ人事部・卒業生	令和5年4月1日～ 令和7年4月1日（2年）	③

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ　）
URL:https://www.trajal.info/
公表時期：令和5年1月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本学の情報を企業等に広く提供することで、本学への理解を深めていただき、学園・企業間で相互に連携を緊密化し、学生就職時の最適なマッチングに活かしていく

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、所在地、校長名、施設名
（2）各学科等の教育	学生数、カリキュラム、進級要件、資格取得実績、就職者数
（3）教職員	教員数
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況
（5）様々な教育活動・教育環境	行事、課外活動
（6）学生の生活支援	健康診断、アルバイト、カウンセラー等
（7）学生納付金・修学支援	学費、学費減免制度、サポート制度
（8）学校の財務	財務状況
（9）学校評価	自己評価表
（10）国際連携の状況	外国人留学生の受入、留学制度
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

（ホームページ　）

URL:https://www.trajal.info/

教育課程及び授業時数

別表1
文化教養専門課程
ブライダル学科

大阪ブライダル専門学校
2024年度入学生
1単位時間　45分

区分	科目名	必修・選択の別	年間授業時数			週授業時数（単位数）		
			第1学年	第2学年	合計	第1学年	第2学年	合計
共通	キャリアデザイン	必修	26	30	56	―	―	0
	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	必修	26	30	56	1	2	3
	業界英会話	必修	52	0	52	2		2
	キャリアガイダンス	必修	52	0	52	2		2
	ビジネスプレゼンテーション	必修	52	0	52	2		2
専門	ブライダル産業知識	必修	52	0	52	2		2
	ブライダル業界研究	必修	26	0	26	1		1
	ブライダルワークセッション	必修	26	0	26	1		1
	バリエーションウェディング	必修	0	30	30		2	2
	キャリアガイダンスⅡ	必修	26	0	26	1		1
	プロジェクトマネージメント	必修	52	60	112	2	4	6
	婚礼プロデュース演習	必修	52	60	112	2	4	6
	婚礼宴会サービス	必修	52	60	112	2	4	6
	ブライダル発表会	必修	0	60	60		4	4
	セールスプロモーション	必修	26	30	56	1	2	3
	接客スキルトレーニング	必修	0	30	30		2	2
	ボイストレーニング	必修	26	0	26	1		1
	所作・ウォーキングレッスン	必修	26	0	26	1		1
	セルフビューティ	必修	26	0	26	1		1
	表現力演習	必修	26	0	26	1		1
	婚礼衣裳	必修	52	30	82	2	2	4
	婚礼フラワーコーディネート	必修	26	0	26	1		1
	色彩基礎知識	必修	0	30	30		2	2
	ウエディングフォト	必修	0	30	30		2	2
	おもてなし手話	必修	0	30	30		2	2
	ブライダルマーケティング	必修	0	30	30		2	2
	デジタルマーケティング	必修	0	30	30		2	2
	ライフワークバランスコーチング	必修	0	30	30		2	2
	国内留学	必修	90	0	90	6		6
	ジョブトレ	必修	120	120	240	4	4	8
	デザインコミュニケーション	選択	0	90	90	0	6	6
	ファッショントレンド研究							
	フィジカルトレーニング							
	日本文化研究							
	海外ウェディング研究							
任意								
履修単位数合計			912	810	1722	36	48	84

教育課程及び授業時数

別表1　　大阪ブライダル専門学校

文化教養専門課程　　2023年度入学生

ブライダル学科　　1単位時間　45分

区分	科目名	必修・選択の別	年間授業時数			週授業時数（単位数）		
			第1学年	第2学年	合計	第1学年	第2学年	合計
共通	キャリアデザイン	必修	26	30	56	—	—	0
	ホスピタリティ・ユニバーサルサービス研究	必修	26	30	56	1	2	3
	業界英会話	必修	52	0	52	2		2
	キャリアガイダンス	必修	52	0	52	2		2
	ビジネスプレゼンテーション	必修	52	0	52	2		2
専門	ブライダル産業知識	必修	52	0	52	2		2
	ブライダル業界研究	必修	26	0	26	1		1
	ブライダルワークセッション	必修	26	0	26	1		1
	バリエーションウェディング	必修	0	30	30		2	2
	キャリアガイダンスⅡ	必修	26	0	26	1		1
	プロジェクトマネージメント	必修	52	60	112	2	4	6
	婚礼プロデュース演習	必修	52	60	112	2	4	6
	婚礼宴会サービス	必修	52	60	112	2	4	6
	ブライダル発表会	必修	0	60	60		4	4
	セールスプロモーション	必修	26	30	56	1	2	3
	接客スキルトレーニング	必修	0	30	30		2	2
	ボイストレーニング	必修	26	0	26	1		1
	所作・ウォーキングレッスン	必修	26	0	26	1		1
	セルフビューティ	必修	26	0	26	1		1
	表現力演習	必修	26	0	26	1		1
	婚礼衣裳	必修	52	30	82	2	2	4
	婚礼フラワーコーディネート	必修	26	0	26	1		1
	色彩基礎知識	必修	0	30	30		2	2
	ウエディングフォト	必修	0	30	30		2	2
	おもてなし手話	必修	0	30	30		2	2
	ブライダルマーケティング	必修	0	30	30		2	2
	デジタルマーケティング	必修	0	30	30		2	2

	ライフワークバランスコーチング	必修	0	30	30		2	2
	国内留学	必修	90	0	90	6		6
	ジョブトレ	必修	120	120	240	4	4	8
	デザインコミュニケーション ファッショントレンド研究 フィジカルトレーニング 日本文化研究 海外ウェディング研究	選択	0	90	90	0	6	6
任意								
履修単位数合計			912	810	1722	36	48	84